



5分でわかる 高大産連携プロジェクト



石巻市復興まちづくり情報交流館

イトナ



今野梱包株式会社



SoftBank
Group

FUJITSU

富士通コンピュータテクノロジーズ

RAKUTEN
EAGLES



石巻専修大学

I 高大産連携プロジェクトとは

「地域の人材育成と活性化」を共通のテーマとして、石巻圏域の高等学校、大学、企業・法人との連携によるプラットフォームを形成し、3者による協力のもと、圏域の資源に対する理解を深めながら、各々の強みや特色を最大限に引き出す取り組みである。大学の特色だけでなく、地域の特色に繋がる事業への発展も目指している。

II 各プロジェクトの紹介

1. 平成28年度

(1) Code for Ishinomaki2016

①プロジェクトメンバー

石巻専修大学：

経営学部経営学科

舛井 道晴 准教授ゼミナール

高等学校：石巻工業高等学校

企業・法人：一般社団法人イトナブ石巻

②期間 平成28年5月～平成29年1月

③概要

スマートフォンなどの活用による実生活で利用可能なサービスの提供を目指すとともに、自らが生活する地域を自らの力で改善できる若者を育成する。

④内容

「若者たちがITの力で石巻を盛り上げるにはどうすればよいか」という課題のもと、「石巻の絶景」をテーマとした石巻圏域の風光明媚な景色を紹介するスマートフォンアプリケーション「Iscene」とウェブサイト「巻scape」を制作した。アプリケーションでは、景色をヴァーチャルリアリティ（VR）で擬似体験できるようにし、ウェブサイトではタイムラプス機能によって石巻の四季を1分程度で楽しめるように工夫した。

平成29年1月19日には石巻市役所においてプレゼンテーションを行い、制作物を市役所職員に体験してもらうなど、会場は大いに盛り上がった。

平成29年度は、「アプリ開発プロジェクト」として、新たなスタートを切っている。

「巻scape」

<http://makiscape.starfree.jp/>



(2) 石巻地域3者連携ものづくりプロジェクト

①プロジェクトメンバー

石巻専修大学：

[代表]理工学部機械工学科

高橋 智 准教授

高等学校：石巻工業高等学校

企業・法人：今野梱包株式会社

②期間 平成28年7月～平成29年3月

③概要

「強化ダンボールを活用した防災用品の開発」をテーマとして、石巻圏域の教育機関と企業が連携し、ものづくりの実践的な機会を通して、若い世代の育成と地域の活性化を目指す。

④内容

ブレインストーミング

によるアイデア出し、若者を対象としたアンケート調査、発表会などのメンバー全体による活動や、コンピューター支援による設計、ダンボールの強度試験、製品の広報戦略などを通じて、強化ダンボール製の台車やパーテーション、折り畳み椅子、スリッパなどの試作品を完成させた。



(3) 高大産連携によるラジオ放送プロジェクト

①プロジェクトメンバー

石巻専修大学：

経営学部経営学科

舛井 道晴 准教授ゼミナール

高等学校：石巻西高等学校

企業・法人：石巻コミュニティ放送株式会社
(ラジオ石巻)

②期間 平成28年7月～平成29年3月

③概要

ラジオ番組、映像コンテンツ、高校生ラジオ番組の制作を通じて、若い感性で捉えた情報を石巻圏域に発信し、地域の活性化を図る。

④内容

舛井ゼミナールの学生、石巻圏域の高等学校で唯一放送部を持つ石巻西高等学校の生徒及び石巻圏域を可聴範囲とするラジオ石巻が共同で番組制作を行い、若い感性による地域への情報発信に取り組んだ。

ラジオ番組の制作が活動の中心であったが、ご当地CMやインターネットへの配信動画などのコンテンツ制作に関することを学び、実践的な活動を推進した。



2. 平成29年度

(1) Pepper社会貢献プログラム (3か年)

ソフトバンクグループ株式会社が人型ロボット「Pepper」を非営利団体などに3年間無償で貸し出すことで、社会課題の解決を支援する「Pepper社会貢献プログラム ソーシャルチャレンジ」



に、本学が申請した「高大産連携によるPepperを活用した地域の人材育成・活性化プロジェクトの推進」が、特に優れた上位5案件のひとつとして優秀賞に選ばれた。これにより、同社からPepper30台とモバイルWi-Fiルーターを3年間無償で貸与されており、次の5つのプロジェクト（期間はすべて平成29年4月～平成32年3月〔予定〕）を推進している。

A. 震災伝承プロジェクト

①プロジェクトメンバー

石巻専修大学：

経営学部経営学科 益満 環 教授

高等学校：石巻商業高等学校

企業・法人：ソフトバンクグループ株式会社

②概要

石巻市を訪れる外国人観光客に対してPepperが多言語で震災当時の様子や復興の歩みを紹介する。

③内容

「震災伝承館などの来館者向け情報案内コンテンツの開発」に向け、生徒と学生による合同ミーティングの開催などに取り組んでいる。



B. まちなかポスタープロジェクト

①プロジェクトメンバー

石巻専修大学：

経営学部経営学科 舛井 道晴 准教授

高等学校：石巻桜坂高等学校

企業・法人：ソフトバンクグループ株式会社

②概要

石巻市内の商店街や企業の情報を発信するポスターをPepperが紹介することで、よりクリエイティブに石巻市の魅力を伝える。

③内容

発信したい石巻の魅力のアイデア出し、IT企業社員による説明・助言の聴講、ロボアプリの体験などを踏まえ、生徒が考えた石巻に係るクイズを、Pepperが質問し、解答するアプリ「石巻博士」を学生がプログラミングした。



C. 「まちの防災」を考えよう

①プロジェクトメンバー

石巻専修大学：

理工学部機械工学科 高橋 智 准教授

高等学校：石巻工業高等学校

企業・法人：ソフトバンクグループ株式会社

②概要

小中学生の防災意識を高めるためにPepperと共に地域の現状を考える出張授業を実施する。

③内容

各回において、生徒と学生が各々の進捗状況や課題を報告するとともに、生徒が抱える問題を、学生が技術的なサポートや助言を行うことで、プログラミングに関する理解を深めている。



D. Pepperとデジタルマップを活用した地域復興

①プロジェクトメンバー

石巻専修大学：

理工学部情報電子工学科

佐々木 慶文 准教授

高等学校：石巻工業高等学校

企業・法人：ソフトバンクグループ株式会社

②概要

被災地の復興状況などをPepperと3DマップやQRコードを組み合わせて案内する。

③内容

石巻地域の復興や観光情報などをPepperがナビゲートするシステムを開発しており、佐々木研究室が定期的に石巻工業高等学校の課題研究授業に参加し、技術的な意見交換などを行っている。

E. 複数台のPepperによるヒューマンインターフェイスの活用

①プロジェクトメンバー

「D」と同じ

②概要

複数台のPepper が連動してコミュニケーションをするロボアプリを開発し、地域住民のコミュニケーションツールとして活用する。

③内容

学生による技術の提供やサポートに基づき、電気部の生徒は、平成29年8月に行われた第41回全国高等学校総合文化祭において、「マルチ『Pepper』環境におけるコミュニケーション手法の研究」というテーマのもと、複数台のPepperと人間の関わり合いについて発表を行った。



(2) こめぼこ商品化プロジェクト

①プロジェクトメンバー

石巻専修大学：

理工学部食環境学科 坂田 隆 教授

経営学部経営学科 杉田 博 教授

高等学校：石巻北高等学校、宮城水産高等学校

企業・法人：

株式会社楽天野球団、株式会社阿部蒲鉾店

②期間 平成29年4月～平成30年3月

③概要

平成29年3月17日に、石巻専修大学と株式会社楽天野球団は、地域活性化及びスポーツ振興を目的とした連携協定を締結した。この連携協定に基づく取り組みの第1弾が、本プロジェクトであり、石巻北高等学校及び宮城水産高等学校が共同開発している「こめぼこ」（魚のすり身に米粉を練りこんだかまぼこ）の商品化を目指し、本学及び阿部蒲鉾店が専門性・実践性からサポートするとともに、楽天野球団が販売機会を提供する。



④内容

平成29年4月28日

キックオフイベントを開催

5月23日

石巻北高等学校と宮城水産高等学校による合同田植えを実施

牧田明久氏（楽天野球団ジュニアコーチ）や経営学部学生などが参加した。

7月7日

協力企業社長による講演会を開催

株式会社阿部蒲鉾店 代表取締役社長 阿部 賀寿男氏と株式会社楽天野球団 代表取締役社長 立花陽三氏が登壇し、生徒・学生にメッセージを送った。

7月21日

Koboパーク宮城、宮城峡において商品発表会を実施

7月23・27日／8月11～13日

Koboパーク宮城（7月）及び石巻市民球場（8月）において「こめぼこ」を販売

生徒・学生が、延べ5日間で販売目標数2,100パックを完売した。



9月26日

阿部蒲鉾店本社において活動報告会を開催

10月10日

石巻北高等学校と宮城水産高等学校による合同稲刈りを実施

12月21日

12月19日に行われた阿部蒲鉾店による技術指導を踏まえ、新米による「こめぼこ」を製造する交流実習を開催

(3) 復興まちづくり情報交流館プロジェクト

①プロジェクトメンバー

石巻専修大学：

人間学部人間文化学科

根本 泉 教授、佐藤 利明 教授

高等学校：石巻高等学校、石巻好文館高等学校、石巻北高等学校、石巻市立桜坂高等学校

企業・法人：石巻市復興まちづくり情報交流館

②期間 平成29年8月～平成30年2月

③概要

石巻圏域の被災からの復興と地域の魅力を内外に広くアピールすることを目指して、石巻市復興まちづくり情報交流館「牡鹿館」「雄勝館」「北上館」の各チラシを日本語版と英語版で作成する。

④内容

平成29年7月26日に開催されたキックオフ

イベントを経て、9月30日に、3地区の情報交流館を拠点として、産業や文化、震災からの復興状況などを理解するためのフィールドトリップを実施し、生徒と学生24名が参加した。

10月から12月にかけて、情報の整理などを行う合同ワークショップを実施し、平成30年2月のチラシ完成を目指す。



(4) ロボットプログラミング体験教室

①プロジェクトメンバー

石巻専修大学：

経営学部経営学科

工藤 周平 准教授ゼミナール

高等学校：女川高等学園

企業・法人：

株式会社富士通コンピュータテクノロジーズ

②期間 平成29年12月～平成30年2月

③概要

「ロボットプログラミング体験教室」を企画実施し、高校生や大学生がロボットの組み立てやプログラミング体験を通じて、ものづくりの楽しさを共有し、科学技術に関する知識を深める。

④内容

工藤ゼミナールは、平成30年2月19日に、女川高等学園の2年生を対象とした「ロボットプログラミング体験教室」を、富士通コンピュータテクノロジーズの協力のもとで実施する。

12月16日には、同社が開催した「震災復興支援家族ロボット教室」に、工藤准教授と6名の学生が事前研修を兼ねてトレーナーとして参加した。

